

日本共産党
宇都宮市
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

3月議会報告
第60号

発行
日本共産党宇都宮市議員団
宇都宮市旭1丁目1-5
電話 632-2622
FAX 632-7753



代表質問をする荒川つねお議員

3月定例議会(予算議会)では、16人が質問。日本共産党からは代表質問に荒川つねお議員が登壇。佐藤市長施政方針の安倍政治礼賛や2016年度市予算案が大突出・市民の暮らし後回しであることを批判。各常任委員会を経て、最終日の23日には、福田くみ子議員が一般会計予算案などについて反対討論を行いました。以下要旨です。

LRTは銀河鉄道999にはなれない! 軌道運送高度化実施計画に問題あり

道路のない所を市道と認定
専用軌道をムリヤリ併用軌道化

市は本年一月、国に軌道運送高度化実施計画を提出。軌道事業の特許取得をめざしています。荒川議員は、この計画について、鬼怒通りを車と併走する併用軌道からそれて平石地区・鬼怒川渡河橋、高架軌道で作新学院北に至る専用走行区間は、人や車などが利用できる道ではない。従っ

専用軌道か併用軌道かで大きく変わる安全対策

平石中央小学校敷地を削りとしてLRTが走行する辰街道との交差点は、子どもたちの安全が守れないと大問題になっています。道路との併用軌道は、軌道法が適用され、交差点は平面交通が可能です。新設(専用)軌道は、鉄道技術基準省令に準ずる

下水道基本料金の改定を

荒川議員は、平成8年以来そのままとなっている下水道基本料金について、基本使用水量を現在の20㎡から水道と同じ10㎡に改定すべきと提案。

下水道料金に連動する水道使用料が、下水道基本使用量の半分(10㎡)以下の世帯は何件あるのかと質しました。

基本使用水量の半分以下 3万1,200件にも

津田上下水道事業管理者は、直近の時点で、使用水量5㎡以下、約1万3,600件、6㎡から10㎡の使用是件数は1万7,600件と答えました。

高齢者・単身者などの負担の軽減 待ったなし

荒川議員は「この事態放置したままで良いのか。水道基本料金とも整合性を欠いた下水道基本料金の改定は待ったなしだ。高齢者などに配慮せよ。」と詰め寄りました。

津田上下水道事業管理者は「本市の下水道使用料は、国が示した適正基準単価とほぼ同額なので据え置いてきた。上下水道事業はそれぞれ多額の企業債残高をかかえ運営している。今後の人口減少社会の到来や施設更新費用の増大等事業環境の変化を踏まえ、持続可能な運営につながる料金制度のあり方の中で調査、研究してゆく」と答弁。

それは改定をのばす理由にならない

荒川議員は高齢者等に犠牲を強いる不公正な料金体系はいかなる理由のもとでも許されない。一日も早い改定を求めました。

- * 介護・国保の都道府県化について
- * 住民の声をきく宝木市宮住宅立替事業に
- * 工場立地法に規定する緑地規制緩和問題
- * 小規模企業振興基本法と本市の対応は
- * 公契約条例の制定について

掲載できなかった項目

担当地区人口

(一人の保健師が受け持つ人口)

単位:人

配置部署	人口	地区担当保健師数	平均担当人口
上河内	9,997	2	4,999
河内	35,497	4	8,874
中央部	202,657	8	25,332
東部	68,505	3	22,835
北西部	44,246	3	14,749
南部	160,918	7	22,988
合計	521,820	27	19,327

一人最高担当人口36,601人 H27.12末人口

長野県松本市では
人口24万人、保健師55人中
地区担当保健師35地区35人



向かって左上、新4号をくぐり平石の田園地帯を走る専用軌道ルート計画

正々堂々進められないのか
全国初の全線新設LRT計画
国に出している本市のLRT計画は法の抜け道を通って全線併用軌道と強弁。危険な交差点も平面交通で乗り切ろうとするもの。まさに、法の立場趣旨に反する「住民・市民の安全は二の次が許されるのか」が問われています。

市民の健康を守る最前線で働く 地区担当保健師の増員図れ!!

荒川議員は代表質問で市民の健康・いのちを守る最前線でがんばる地区担当保健師に光をあて、その活動と課題を市民の前に明らかにしました。

年々ハードになる
重責担って

本市の80名の保健師の内27名が一人一地区を担当し、地域における保健・福祉を推進し訪問指導・健康相談、健康教育などの各種サービスを展開しています。加えて、少子高齢化や核家族化の進展など社会環境の変化に伴い生活習慣病の予防や認知症対策、児童や高齢者、障害者の虐待防止対策等の多様化するニーズに対応しています。さらに、市民が住み慣れた地域で健康で質の高い生活が送れるよう健康づくり推進活

動に取りくんでいます。(保健福祉部長答弁より)
保健師一人平均
担当人口二万九千人
最大担当人口
三万六千人

荒川議員の質問で、地区担当保健師の過重負担が明らかになりました。
仕事はどんどん増えても
増員は年間0(ゼロ)
佐藤市長は施政方針で「市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支える」を掲げています。
しかし、LRTにはほとんど税金を費やしても、地区担当保健師の増員には税金を回さず十年以上一人も増員をしていません。市長の政治姿勢が問われます。

くらし・福祉・教育・地域経済を犠牲にしたLRT優先予算 新年度予算 福田議員が討論 (要旨)



討論に立つ福田くみ子議員

大手地区再開発事業30階建てのマンション建設に5億4335万円、効果も検証されず民間丸投げの都市ブランド戦略推進費6652万円、費用対効果の薄い若年夫婦・子育て世代家賃補助金・住宅取得支援事業7356万円、自治会への監視カメラ設置助成金3億3550万円、議員の海外視察費などへの支出は見直すべき。

まだまだあるムダ遣い

政府の経済対策にも期待が持てず、東京オリンピックや東日本大震災の復興、消費税増税の影響からもコストのさらなる高騰が予測されるこの時期に、市民合意の確認もないまま住民の安全対策や利便性は置き去りのまま、LRT建設着手は断じて認められない。市民の切実な願いを犠牲にした事業となっていることはますます明らか。

ムダの最たるもの LRT事業費予算に100億円超

アベノミクスの破綻は明らか 実質賃金は4年連続減、個人消費は安倍政権になって4兆円も減、消費税増税の影響はいまだに続き、アベノミクスの破綻は事実が示している。市民の願いが一体どこにあるのか、全く眼中にないのが本市の新年度の予算。

圧倒的に不足しています 身近な暮らしを支える予算

① 安上がりの待機児童対策

「保育園落ちた」の匿名ブログは、他人ごとではない0から2歳児の待機児童対策として、304名もの定数拡大を保育士資格を有する職員が半分であり地域型保育事業に依存。これでは保育の質の確保・保育士の処遇改善という矛盾は解決できない。

④ 大企業優遇改めよ

大企業誘致のための補助金8億852万円、対して中小企業促進費は8604万円。地元中小企業支援の拡充を。

② 身近な住民サービスの削減

合併10年目の河内・上河内保健センター・産業土木課の廃止は、住民サービスの低下を招くことは必至。

③ 貧困・格差対策の拡充は急務

就学援助制度の本市の援助率は8.9%(26年度)と全国最低クラス。改善策を講じ必要な世帯が受けやすくするべき。生活保護世帯冬季加算削減や年金給付が事実上

スポットライト

工場緑地面積率大緩和へ なぜ? 共産以外は全員賛成

工場立地法に基づく工業団地などの工場緑地面積率が条例により大緩和されることになりました。この影響について、今回の条例に該当する工場の大部分を占める清原・宇都宮工業団地について試算してみました。

工場緑地面積が1/3に減少

これまでの工場敷地面積の20%以上が5%以上に緩和。清原工業団地では、現在の40万㎡の緑地面積が理論上28.2万㎡も減少し残緑地面積は11.8万㎡に。宇都宮工業団地では、現在の25.5万㎡が理論上18.4万㎡も減少し残緑地面積は7万㎡です。市長は、環境負荷が法制定時より著しく低減したとの理由で大改悪へ。

大企業奉仕、自ら掲げた環境都市宇都宮に背を向ける

日本共産党は、「これまで二つの工業団地は、緑量豊かなことがブランドであり、都市の品格にも繋がっていた。この破壊を想像する力がないのか」と指摘。栃木県も工場排ガス・排水に関する自主測定報告廃止など規制緩和を進めるとしており、県・市一体のこの動きは市民の快適な住環境の創出に逆行するものと厳しく告発しました。

LRT 住民置き去り・安全軽視 ますます明白に

今議会には、「架空」の市道認定を求める議案等、LRTに関する3議案(70号から72号)が提出され、日本共産党は反対の立場をとりました。討論で福田議員は、「この3本の議案の要である軌道運送高度化実施計画には、いくつもの瑕疵がある」と指摘しました。その一つは、荒川議員が一般質問で明らかにしています。(1面参照)

前例のない

時速50km(併用区間) 時速70km(専用区間)

LRTは法律で時速40km以下と定められています。現行法上、併用軌道上で例がなく実現性のない時速50km、70km走行を掲げ、市民・利用者に速達性の幻想を振りまく計画といえます。

きわめて無理な需要予測

事業採算性の大前提となる需要予測の大元は、「県央広域都市圏実態調査」。ここでは、主たる利用客となる工業団地従業員の長期動向予測、企業バス利用者の実際の利用動向を考慮に入れていません。そうした基での需要予測は、きわめて無理があると言えます。

国会でも日本共産党議員が次々取り上げる 塩川鉄也・本村伸子衆議院議員

塩川議員は、現地調査も行い、平石中央小付近の状況や住民のみなさんの声も聴き、本市の進めるLRTについて質問。「新設軌道については」軌道運転規則第3条一項の鉄道に関する技術上の基準を定める省令の規定(鉄道は道路と平面交差してはならない)を準用する」とされています。この点を国会で指摘した塩川衆議院議員の質問により、現在本市がすすめるものとしていた手続きそのものの瑕疵が明らかになってきました。国土交通委員会に所属する本村伸子衆議院議員も、住民と学童の安全の観点から質問、慎重な対応と現地調査することなどを石井国交省大臣に求めました。

国土交通省のレクチャー 地元の皆さんが申し入れ

民主党・福田昭夫衆議院議員・田城郁参議院議員、社民党・福島みずほ参議院議員、地元の県議・市議とも連携。写真は、3月10日国交省のレクチャー



市民の皆さんへ

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほっとらいん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆さんのご意見、ご要望等どしどしお寄せ下さい。

定例無料 市政・法律なんでも相談会

■4月9日(土) } 総合コミセン 第2創作室
■5月14日(土) }
時間はいずれの日も午後2時~4時
※弁護士が協力します。プライバシー厳守
※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。
日本共産党宇都宮市議員団
電話 632-2622 FAX 632-7753
電話 634-8722 (休日夜間など)